

政策の柱

1. 未来を担うひびくり

- ◆子育てにやさしい風土づくり
- ◆生涯にわたる学びと活躍の推進

産後ケア事業(94万3千円)
多胎産婦支援事業(1万4千円)

出産直後の母親が地域で安心して育児を始められ、子どもが健やかに成長できるように、母子の心身のケアや育児等の支援を行います。また、多胎産婦が産後にファミリーサポートを利用する際の支援を行います。

図書館空調システムの更新(3,500万円)

子どもから大人まで全ての世代の方の学びの場である図書館の長寿命化・省エネ化を図るため、空調システムの更新を実施します。

定住宅地(コスモスラーラ西大路)の整備事業

(6,204万5千円)

移住定住を促進するため、未利用地を活用し整備した宅地を分譲します。

大谷公園野球場の改修工事(1億2,000万円)

滋賀県で開催される国民スポーツ大会に向けて、大谷公園野球場の改修工事を実施します。

文化財保存活用地域計画の策定(439万2千円)

先人から引き継いできた文化財の保存・継承や活用の指針となる文化財保存活用地域計画を策定します。

2. 暮らしを支えるひびくり

- ◆生活の基盤となる町内産業の持続発展
- ◆まちの魅力を活かした賑わいの創出

施設園芸の支援(300万円)
飼料用米等の転換支援(400万円)

原油価格高騰による燃料価格の上昇や米の需要減少が続くと見込まれるため、施設園芸で使用される燃料費用に対する支援や飼料用米等への作付け転換による米の需給安定の取り組みに対して、助成を行います。

ふるさと日野町がんばろうクーポン券の配布

(4,900万円)

おさんぽQRカードのプレミアムポイント補助

(350万円)

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている町民の方の生活支援や地元商店等への集客支援のため、クーポン券の配布や、商業協同組合のおさんぽQRカードのチャージに対して付与するプレミアムポイント分を助成します。

商工業事業の承継委託(20万円)

町内で営んでいる事業を譲りたい方と事業を譲り受けたい方とをマッチングし、事業の承継を図ることで、町内産業の持続発展をめざす取り組みを実施します。

3. 安心、助け合いの

くらひびくり

- ◆健やかで思いやりのある地域共生社会の形成
- ◆人と豊かな自然との共生

障害者総合支援事業

(7億6,903万3千円)

事業所(作業所)への通所や入所、ヘルパー利用等、障がいのある方(児童)がそれぞれにあった福祉サービスを利用し、地域での生活の自立と安定を図ります。

未就学児の国民健康保険税の軽減

(230万円)

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、国民健康保険に加入している未就学児の均等割を軽減します。

環境保全を図るための町民意識調査

(275万円)

一人ひとりが美化意識を持ち、豊かな自然に囲まれた環境を次世代につなぐことができるよう、環境保全を図るための町民意識調査を実施します。



4. 住みたくなる

都市基盤づくり

- ◆災害や危機への備えの強化
- ◆居心地のよい都市環境の整備

消防団の出動報酬等の改定

(1,000万円)

地域の消防・防災に重要な役割を果たす消防団員の処遇を改善するため、出動報酬等を改定します。

原子力災害に備えた安定ヨウ素剤の購入(71万1千円)

万が一の原子力災害に備えるとともに、町民の方の安心・安全を図るため、安定ヨウ素剤を購入し、備蓄します。

社会資本整備総合交付金事業(防災・安全含む) (1億9,150万円)

快適で安全な道路交通を確保するため、町道西大路鎌掛線道路改良工事を継続して実施します。また、児童の登下校の安全を確保するため、必佐小学校前に歩道を新設します。



5. みんなではぐくむ

地域づくり

- ◆住民が主人公の地域形成
- ◆時代の変化に柔軟に対応できる行財政運営

地方創生人材育成伴走型支援事業

(150万円)

人材育成の観点から、滋賀県立大学および地域活性化センターと協定を結び、地域学習に取り組む学生と町職員との協働実習を実施します。

地方創生交付金事業(推進交付金)

(1億2,415万2千円)

官民共創により、だれもが利用しやすい公共交通体系を整備し、マイカーを利用しなくても町内を巡ることができる町をめざした取り組みを実施します。また、町に合致するデジタル技術の導入や滋賀県と広域で連携し、滋賀ならではの観光推進やマイクローツーリズム推進事業等に取り組みます。



新型コロナウイルス感染症 に対する主な予算

新型コロナウイルスワクチンの

予防接種事業(6,787万8千円)

感染症緊急衛生対策事業(92万円)

新型コロナウイルス感染症に対応するための予防接種の継続や高齢者施設の新規入所者等に対して、新型コロナウイルス感染症の検査費用の一部補助を実施し、緊急的な対策を行います。

フードドライブ事業の補助(30万円)

養育支援訪問員の配置(50万円)

家庭にある未使用の食品や学用品を取りまとめて、それを必要とする家庭に届けるフードドライブの活動に対して補助を行います。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、子育ての場が家庭に集中してしまふことから、きめ細かな子育てアドバイスを提供するための養育支援訪問員を配置します。

学習支援員の配置(2,207万1千円)

GIGAスクール構想の推進(2,071万8千円)

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、安心して学校生活を送れるよう支援するため、町独自の学習支援員を配置します。また、GIGAスクールサポーターの配置と、あわせてデジタル端末の持ち帰りに備えたフィルタリングソフトの導入とACアダプターの購入を実施します。

